



川和の歴史に川和でふれる

なかやまつねさぶろう

## 中山恒三郎家書院および諸味蔵 公開



横浜市認定歴史的建造物「中山恒三郎家書院」

会 期：2019年 11月 28日（木）～12月 10日（火）（12月 2日は公開休止）  
時 間：10：00～15：30（15：00までにご来館ください）  
会 場：中山恒三郎家（横浜市都筑区川和町 890）  
観 覧 料：無料  
主 催：横浜市歴史博物館／よこはま地域文化遺産デビュー・活用事業実行委員会  
協 力：(公財) 横浜市ふるさと歴史財団／横浜開港資料館／横浜都市発展記念館／  
よこはま芸術プロジェクト PASSAGE  
特別協力：(有) 中山松林甫  
後 援：横浜市都筑区役所

一般公開に先立ち、開催前日の 11月 27日（水）13：00～15：00 マスコミ関係者向けに  
内覧会を開催します。ぜひお越しください。

江戸時代以来の中山恒三郎家・商店にかかわる歴史資料は現在、横浜市認定歴史的建造物となった中山恒三郎家店蔵及び書院のほか、(公財)横浜市ふるさと歴史財団が管理運営する横浜市歴史博物館・横浜開港資料館に保管されています。

今回、施設改修工事で休館している横浜市歴史博物館のアウトリーチ事業として、中山恒三郎家・商店の書院と諸味蔵の公開を行います。書院では昨年度より本格的に始まった資料整理事業によって見つかった新出資料を含めて同家が川和という地域で果たしてきた役割などを紹介します。諸味蔵では、実際に行っている資料整理の現場を公開し、資料カードの記入や写真撮影などの整理作業をご覧いただけます。会期中には、資料整理事業の進捗報告となる2回の公開講座を実施するほか、庭園を舞台としたイベントを開催します。

中山恒三郎家・商店を通じて川和の歴史に触れていただきたいと思います。

### 中山恒三郎家について

江戸時代から都筑郡川和村に居住した中山一族の流れを引く家で、幕末期に初代恒三郎が中山五蔵家から分家し新宅となった家です。酒・醤油・塩・煙草などの販売に従事し、この地域の経済の活性化に大きな役割を果たしました。また、菊の栽培をおこない、明治時代には大隈重信・松方正義などの大物政治家と菊を通じて交流を広げ、大正時代には開催した観菊会に多くの人びとが東京や横浜の市街地から川和へ訪れています。

平成27年からの当館や横浜開港資料館による調査で、大量の古文書と看板などの資料が発見され、店蔵及び書院は平成30年に横浜市認定歴史的建造物に認定されました。

### 【関連イベント】

#### ◆公開講座 (事前申込：往復はがきまたは当館ウェブサイトから)

会場：川和町内会館

時間：13:00～14:00 (開場 12:20)

定員：各回ともに70名 (応募者多数の場合は抽選)

#### ① 11月30日(土)「中山恒三郎家資料整理の現在とこれからー民俗資料編ー」

講師：小林光一郎 (横浜市歴史博物館学芸員)

申込締切：11月20日 (必着・ウェブサイトからは17:00まで)

#### ② 12月8日(日)「中山恒三郎家資料整理の現在とこれからー古文書編ー」

講師：吉田律人 (横浜開港資料館調査研究員)

申込締切：11月28日 (必着・ウェブサイトからは17:00まで)

#### ◆公開イベント

12月1日(日)「Flowersー舞踏と音楽と食の総合芸術ー」

会場：中山恒三郎家書院前庭園

時間：12:00～ (開場 10:00)

定員：先着60席 立見可能

企画運営：よこはま芸術プロジェクト PASSAGE

### お問合せ先

横浜市歴史博物館

副館長：井上攻

担当：羽毛田智幸

TEL：045-912-7777